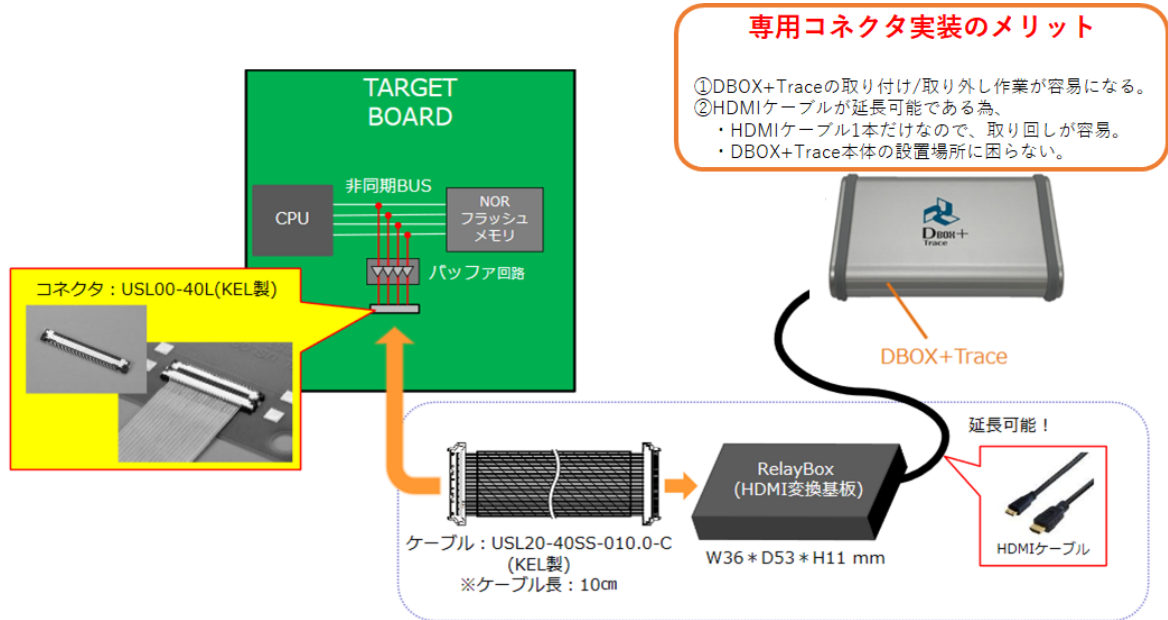


非同期バス接続 専用コネクタの実装案

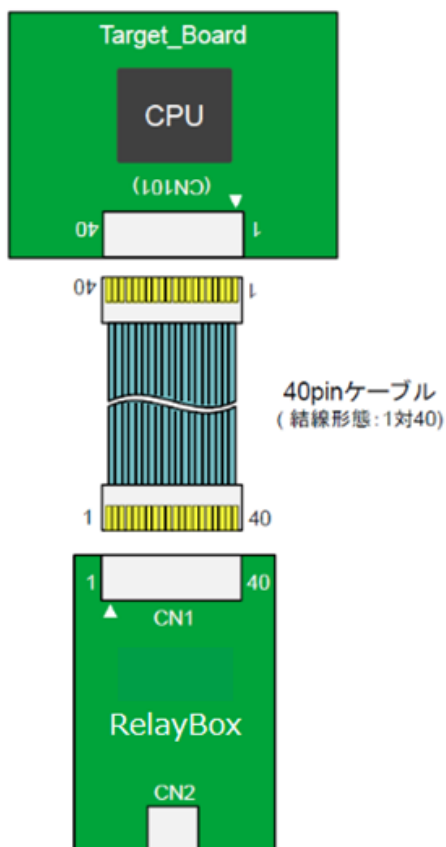
接続イメージ

ターゲット基板に弊社指定の40PINコネクタを実装することで、DBOX+Traceの非同期バス接続が可能になります。



ピン配置票

ターゲットボード側のCN101は、以下のピン配置で配線してください。



Target Board		Target Board	
CN101		CN101	
KEL : USL00-40L		KEL : USL00-40L	
PIN NO.	PIN NAME	PIN NO.	PIN NAME
1	A16	21	GND
2	A15	22	N.C
3	A14	23	D0
4	A13	24	D8
5	A12	25	D1
6	A11	26	D9
7	A10	27	D2
8	A9	28	D10
9	WE#	29	D3
10	A19	30	D11
11	A18	31	D4
12	A8	32	D12
13	A7	33	D5
14	A6	34	D13
15	A5	35	D6
16	A4	36	D14
17	A3	37	D7
18	A2	38	D15
19	A1	39	GND
20	CE#	40	A17

設計上の注意点

- 40Pinケーブルの長さは、約10cmあります。接続時にはバスラインに余計な浮遊容量がぶら下がります。

ターゲット機器によっては、波形品質を低下させる要因となりますので、

バス上に他のデバイスなども複数接続される場合やコネクタまでのパターン配線距離が長くなる場合などは、

安全策として、バスラインとコネクタ間にバッファ回路+出力にダンピング抵抗を設計していただくことを推奨します。

- DBOX+Trace側(RelayBox)に入力する信号は、Lo=0V, Hi=1.8Vか、Lo=0V, Hi=3.3Vとなります。(切り替え可能)

CPU側の出力電圧が仕様を満たさない場合は、レベルシフトICを使用してください。